

★ マイクロアグレッション ★

先日、第75回全国人権・同和教育研究大会に参加してきました。全国の幼稚園、小、中、高等学校や様々な団体から人権課題に関する実践報告、討議が行われました。

全国人権・同和教育研究大会で、「マイクロアグレッション」が話題として取り上げられていました。マイクロアグレッションとは、日常の中の差別、悪意のない人がする差別、あからさまの差別とわからず、日常的に繰り返される小さな攻撃のことです。例えば、「男のくせいに・・・」「女らしくしなさい。」といった何気なく使っている言葉がそうです。人格を否定する「アホ」や「バカ」といった言葉が、日常的に使われているとしたら、日々その攻撃を受けている子どもは、人権が守られず、人格形成に悪影響を与えると考えます。「死ね」という言葉は、論外です。全国では、マイクロアグレッションに気付き、それを無くしていこうとする動きだと感じました。

マイクロアグレッションは、無知、無頓着、無関心、独りよがりの結果だと言われています。それを使う側と攻撃を受ける側の力関係が潜んでいます。私たちの周りに、マイクロアグレッションがないか、力関係が働いていないかを見直すきっかけとなりました。

豊原小学校では、12月に「なかよし集会」を開き、異学年の人と交流し、お互いを理解し、活動することをスキルとして学び、楽しさを共有しました。こうした人権スキルを身に付けつつ、マイクロアグレッションに気付かせるよう指導していきます。家庭、地域でも、マイクロアグレッションをキーワードに教育を再点検してはどうでしょうか。

【文責 森 昭二】



なかよし集会の様子

2月の行事予定		
5	月	委員会活動
7	水	人権コンサート 学習参観・学級PTA PTA厚生バザー
19	月	代表委員会・学費入金完了日
20	火	学費引き落とし
26	月	クラブ活動(3年生見学)



全校生で外遊び「ハンター」をしました。



〈豊小トピックス〉

人権教室（3年生）

【12月1日】

人権擁護委員、カマタマーレ讃岐の方々のご指導のもと、サッカーを通して相手のことを思いやる大切さを学習しました。受けやすいボールをパスしたり、自分のチーム以外の試合でも、大きな声で応援したりと相手のことを考えながらサッカーをプレイすることができました。

